

【日本性感染症学会 第36回学術大会】一般演題 採択演題一覧（セッション順）  
会場:学術総合センター 会期:2023年12月2日（土）・3日（日）

UMIN 登録番号	演題名	演題番号	セッション	発表日	時間	会場
10002	北海道では、妊娠初期全例での細菌性陰症（BV）スクリーニング・治療により、早産・超早産の有意な減少をみた	01-1	一般演題1 「教育・予防・社会」	12月2日（土）	10:00～10:50	第4会場 (2F 中会議室1)
10013	性感染症予防リーフレットの活用に向けた評価	01-2				
10039	HPVワクチン接種に関するキャッチアップ世代に対する意識調査	01-3				
10012	中学生への子宮頸がんおよびHPVワクチンに関する教育教材の作成と評価	01-4				
10042	オンライン診療による性感染症検査の意義 第二報	01-5				
10004	男性淋菌性尿道炎の初診時誤診率	02-1	一般演題2 「診断1」	12月2日（土）	10:00～10:50	第5会場 (1F 特別会議室101～103)
10005	淋菌性尿道炎治療がJarisch-Herxheimer反応を誘発し、潜伏梅毒診断の契機となった1例	02-2				
10006	軽症エムボックスの1例	02-3				
10014	公衆浴場での非性的接触が原因と考えられる淋菌性尿道炎の2例	02-4				
10017	排尿障害を訴える女性におけるM.ジェニタリウム感染症の2例	02-5				
10018	当科で最近経験した口腔咽頭の性感染症3症例	03-1	一般演題3 「診断2」	12月2日（土）	10:50～11:40	第5会場 (1F 特別会議室101～103)
10020	カンジダ性亀頭包皮炎の1例	03-2				
10027	環状丘疹性梅毒の2例	03-3				
10040	膣前庭乳頭症と合併した尖圭コンジローマの1例	03-4				
10041	子宮頸部異型腺細胞におけるHPV検査の有用性	03-5				
10007	福井県内における男性性感染症の発生状況 (2017年～2019年の3年間と2020年～2022年のコロナ禍3年間)	04-1	一般演題4 「疫学1」	12月2日（土）	14:10～15:10	第5会場 (1F 特別会議室101～103)
10008	福井県内における5か月間の男子尿道炎症例の調査 ( <i>Mycoplasma genitalium</i> の検査を含めて)	04-2				
10019	当院における梅毒症例の感染経路についての検討	04-3				
10026	当院における梅毒の治療経験	04-4				
10029	梅毒患者の受診時における梅毒罹患への認識に関する分析 ～岡山市における梅毒届出票に基づく積極的疫学調査結果から～	04-5				
10049	2021年にわが国で分離された淋菌の薬剤感受性報告	04-6				
10034	男性不妊患者における精液、尿、亀頭擦過検体からのHPV検出の比較検討	05-1	一般演題5 「疫学2」	12月2日（土）	15:10～16:00	第5会場 (1F 特別会議室101～103)
10037	沖縄県で分離された淋菌の薬剤感受性推移	05-2				
10043	大阪府におけるエムボックスのアウトブレイクとその疫学的検討	05-3				
10052	2021年に淋菌感染症患者から分離された淋菌の薬剤感受性について	05-4				
10055	日本におけるHPVワクチンの効果とHPV感染型変移への影響； 多施設合同調査（J-HERS 2021）	05-5				
10045	TP抗体陽性、RPR陰性で、再発性性器ヘルペスの既往のある 陰茎潰瘍性病変の診断にFTA-ABSが有用であった梅毒の1症例	06-1	一般演題6 「診断・治療1」	12月2日（土）	16:10～16:50	第5会場 (1F 特別会議室101～103)
10036	<i>Mycoplasma genitalium</i> に対するMINOとSTFXを用いた sequential therapyの治療経験	06-2				
10048	病因別頻度から考える非淋菌性尿道炎への対応	06-3				
10003	アジスロマイシン（AZM）感受性淋菌が検出され、 AZM内服錠を常用量投与した症例の治療成績	06-4				
10001	彦坂病院での <i>Mycoplasma genitalium</i> 検査・治療について	07-1	一般演題7 「診断・治療2」	12月2日（土）	16:50～17:30	第5会場 (1F 特別会議室101～103)
10011	梅毒急増時代における梅毒治療の実際～男子症候性活動性梅毒90例の検討	07-2				
10009	当施設における梅毒症例の臨床的検討	07-3				
10032	当社郵送検査におけるSTI陽性率と混合感染に関する検討（2021～2023）	07-4				

【日本性感染症学会 第36回学術大会】一般演題 採択演題一覧（セッション順）  
会場:学術総合センター 会期:2023年12月2日（土）・3日（日）

UMIN 登録番号	演題名	演題番号	セッション	発表日	時間	会場
10044	母が妊娠中期に梅毒に感染し子宮内胎児死亡した死産児の一部検例	08-1	一般演題8 「基礎」	12月3日（日）	9:30~9:50	第4会場 (2F 中会議室1)
10050	尿道炎関連アデノウイルスの遺伝学的解析	08-2				
10010	急性尿道炎に対する脛トリコモナス及びマイコプラズマ・ジェニタリウムPCR検査の 初期臨床使用経験	09-1	一般演題9 「検査1」	12月3日（日）	9:30~10:00	第5会場 (1F 特別会議室101~103)
10016	クラミジア核酸増幅検査と比較したコバストV/MGアッセイの実施状況	09-2				
10021	パンサーフュージョンシステムを用いたMycoplasma、Ureaplasma 4菌種同時測定系の確立	09-3				
10023	QProbe法を用いた淋菌/クラミジア遺伝子検査試薬の性能評価	010-1	一般演題10 「検査2」	12月3日（日）	10:10~10:50	第5会場 (1F 特別会議室101~103)
10024	非トレポネーマ脂質抗体および梅毒トレポネーマ抗体における各測定試薬 および機器相関の評価	010-2				
10025	非トレポネーマ脂質抗体および梅毒トレポネーマ抗体試薬における プロゾンチェック機能および希釈誤差の評価	010-3				
10030	新型コロナウイルス感染症流行前後におけるNeisseria gonorrhoeaeの 系統変化及び薬剤耐性遺伝子型の解析	010-4				
10031	性感染症クリニックにおける梅毒血清検査陽性率の年次推移と再検基準の検討	011-1	一般演題11 「検査3」	12月3日（日）	11:00~11:50	第5会場 (1F 特別会議室101~103)
10035	拡大肛門鏡を用いた肛門管癌スクリーニングの有用性	011-2				
10046	表面擦過物より粘膜型ハイリスクHPVを検出した爪部Bowen病の1例	011-3				
10051	性器クラミジア・淋菌感染症診断における自己採取（腔分泌物、尿）と 医師採取（子宮頸管分泌物）の一致率に関する前向き研究	011-4				
10054	Quenching Probe法（QP法）を用いた核酸増幅検査によるMycoplasma genitalium 薬剤耐性関連変異検出能評価	011-5				
10015	当院における咽頭淋菌感染症の二次治療としてCTR2g単回投与した症例の検討	012-1	一般演題12 「治療1」	12月3日（日）	13:20~14:00	第5会場 (1F 特別会議室101~103)
10022	ペンタミジンによるアナフィラキシーを生じたAIDS関連ニューモシスチス肺炎の一例	012-2				
10028	フルオロウラシル軟膏が著効した尖圭コンジローマの1例	012-3				
10047	医療相談サイトに記載された臨床所見から疑われ、 受診により確定したアデノウイルス尿道炎の1例	012-4				
10038	間欠自己導尿患者に発生し、5-フルオロウラシル尿道内注入療法で治癒した 尿道尖圭コンジローマ	013-1	一般演題13 「治療2」	12月3日（日）	14:10~14:50	第5会場 (1F 特別会議室101~103)
10053	後期・潜伏梅毒と思われた弓部大動脈瘤の一例	013-2				
10056	M. genitalium 尿道炎に対するガイドライン推奨薬およびその併用療法の臨床効果 —テトラサイクリン系薬とシタフロキサシンの併用療法を中心に—	013-3				
10033	慢性前立腺炎として加療されていたトリコモナス症の一例	013-4				

【日本性感染症学会 第 36 回学術大会】  
一般演題のご発表につきまして（※採択通知の内容と同様でございます。）

**■発表時の利益相反（COI）開示のお願い**

本学術大会で演題を発表する全ての筆頭演者は、利益相反の有無にかかわらず、利益相反状態を開示いただく必要がございます。学術大会ホームページより様式をダウンロードのうえ、発表スライドの 2 枚目（タイトルスライドの次）に開示してください。

<http://sti36.umin.jp/coi.html>

**■発表概要のご案内**

- 1) 発表時間は 1 演題あたり 9 分（講演時間 7 分、質疑時間 2 分）です。
- 2) ご発表はノートパソコン持参またはデータ持参（USB フラッシュメモリ等）による PC での発表のみとなります。
- 3) スライドは、ワイド画面（16：9）で作成してください。
- 4) フォントは、Windows10 に標準搭載されているフォントを推奨いたします。  
MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝  
Arial、Century、Century Gothic、Times New Roman
- 5) 学会で用意する PC は、以下のとおりです。  
OS：Windows10  
アプリケーション：PowerPoint for Microsoft 365  
※Macintosh をご使用の方はご自身のパソコンと  
プロジェクターへの接続ケーブルの持参が必須となります。
- 6) 発表データは学会終了後に事務局で責任をもって消去いたします。

**■事前参加登録のご案内**

採択された演題の発表者は、参加登録が必須となります。  
11 月より事前参加登録が開始予定でございますので、学術大会ホームページよりご登録くださいますようお願いいたします。  
※当日の受付の混雑緩和のため、事前参加登録にご協力をお願いいたします。

その他最新情報は、学術大会ホームページをご参照ください。  
（随時更新いたします）

<http://sti36.umin.jp/index.html>

日本性感染症学会 第 36 回学術大会  
会長 四柳 宏  
（東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野）

<お問い合わせ> -----

日本性感染症学会 第 36 回学術大会 運営事務局  
株式会社サンプラネット メディカルコンベンションユニット  
E-mail：sti36@sunpla-mcv.com